

令和 7 年 6 月 24 日

各 位

薬局 医薬品情報室

第 295 回薬事委員会 伊勢原協同病院 採用薬品等について

*原則、令和 7 年 7 月 1 日以降より使用いたします。

院外採用薬はマスタ設定次第開始となります。

1. 新規採用薬品について

(1) ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL (第一三共) 薬価：44,390/キット

ランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL は、採液などの準備の必要がないキット製剤であることから、バイアル製剤であるランマーク皮下注 120mg に代わり採用となります。

(2) ナルペイン注 2mg (第一三共) 薬価：738/A

(3) ナルペイン注 20mg (第一三共) 薬価：6,457/A [用時購入]

(4) ナルラピド錠 2mg (第一三共) 薬価：206.6/錠 [用時購入]

ナルペイン注 2mg、ナルペイン注 20mg は、WHO がん疼痛ガイドラインの鎮痛リストに記載されているヒドロモルフォンの注射薬として、流通状況が厳しいフェンタニル注に代わる注射薬として採用となります。ナルラピド錠 2mg は、ヒドロモルフォンの内服レスキュー薬として患者さんの苦痛に合わせて使用できるよう 2mg の規格を追加採用します。

上記の薬剤は、院内に常に在庫を置かない必要時のみ購入とする用時採用薬として採用となります。

2. 院外採用薬品について

(1) レキサルティ OD 錠 0.5mg (大塚製薬) [脳神経内科] 薬価：128.7/錠

(2) レキサルティ OD 錠 1mg (大塚製薬) [脳神経内科] 薬価：241.8/錠

レキサルティ OD 錠は、日本で初のアルツハイマー型認知症に伴う焦燥感、易刺激性、興奮に起因する過活動又は攻撃言動に対して効能効果を有する薬剤として、認知症の患者に対する新たな治療薬として使用されます。

3. 採用区分変更の薬品について

- (1) ナルサス錠 2mg (第一三共) 薬価：206.6/錠
- (2) ナルサス錠 6mg (第一三共) 薬価：540.0/錠
- (3) ナルサス錠 24mg (第一三共) 薬価：1,815.8/錠
- (4) ナルラピド錠 1mg (第一三共) 薬価：112.6/錠
- (5) ナルラピド錠 4mg (第一三共) 薬価：378.8/錠

ナルサス錠 2mg、ナルサス錠 6mg、ナルサス錠 24mg、ナルラピド錠 1mg、ナルラピド錠 4mg は、現在院外採用薬として使用されていますが、使用している患者が入院した場合、他施設からの紹介による入院の場合等において多くの診療科で入院時に使用されている実績があることから院内採用区分へ変更します。

- (6) フルナーゼ点鼻液 50 μ g28 噴霧用 (GSK) 薬価：352.3 /瓶

フルナーゼ点鼻液 50 μ g28 噴霧用は、2023 年 6 月より院内で処方実績がなく、院内の在庫もなくなり、アレルギー性鼻炎に対するステロイド点鼻剤の代替薬が他にあるため、院外採用薬へ変更します。

- (7) プラザキサカプセル 110mg (日本ベーリンガー) 薬価：216.3/Cap

- (8) プラザキサカプセル 75mg (日本ベーリンガー) 薬価：122.4/Cap

院内採用 → 用時採用薬へ変更を検討

プラザキサカプセル 110mg は、2023 年 10 月より、プラザキサカプセル 75mg は、2023 年 8 月より院内で処方実績がなく院内の在庫もなくなることから採用区分を変更します。プラザキサカプセルは、他の抗凝固薬へ変更することが難しいため用時購入採用薬に変更となります。

- (9) リンデロン坐剤 1.0mg (塩野義) 薬価：51.3/個

リンデロン坐剤 1.0mg は、2024 年 11 月より院内で処方実績がなく院内の在庫もなくなることから採用区分を変更しますが、代替薬がないため用時購入採用薬に変更となります。

- (10) トラクリア錠 62.5mg (ヤンセンファーマ) 薬価：3,191.9 / 錠

トラクリア錠 62.5mg は、診療科限定として使用されていますが、最近における院内での処方実績がなく院内の在庫も無くなったため、採用区分を診療科限定・院外採用薬へ変更します。

4. 採用中止薬品について

(1) ランマーク皮下注 120mg (第一三共) 薬価：44,108/キット

ランマーク皮下注 120mg は、キット製剤のランマーク HI 皮下注 120mg シリンジ 1.0mL を採用するため採用中止とします。

(2) セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」 薬価：1,256 / V

(3) セフォチアム塩酸塩点滴静注用 1g バッグ「NP」 薬価：1,154 / キット

セフォチアム塩酸塩静注用 1g「NP」およびセフォチアム塩酸塩静注用 1g バッグ「NP」は、流通制限解除後に使用する機会が無くなったため採用中止とします。

5. 販売名変更の報告

報告する内容はあります。

6. メーカー変更の報告

・デパケン R 錠 100mg、デパケン R 錠 200mg、デパケン細粒 40%

協和キリン → 日医工

・マーズレン S 配合顆粒

EA ファーマ → 寿製薬

上記の薬剤についてメーカーが変更となります。

7. 特別採用薬品の報告

(1) ウパシタ静注透析用 100 μ g シリンジ [透析科] 薬価：1,952 / 筒

(2) ウパシタ静注透析用 150 μ g シリンジ [透析科] 薬価：2,388 / 筒

(3) トリセノックス点滴静注 12mg [血液内科] 薬価：27,423/V

(4) エルレフィオ皮下注 44mg [血液内科] 薬価：558,501/V

(5) エルレフィオ皮下注 76mg [血液内科] 薬価：957,222/V

(6) ゼップバウンド皮下注 2.5mg [循環器内科・院外] 薬価：3067/キット

(7) ゼップバウンド皮下注 5mg [循環器内科・院外] 薬価：5979/キット

(8) ゼップバウンド皮下注 7.5mg [循環器内科・院外] 薬価：7721/キット

(10) ゼップバウンド皮下注 10mg [循環器内科・院外] 薬価：8999/キット

(11) ゼップバウンド皮下注 12.5mg [循環器内科・院外] 薬価：10180/キット

(12) ゼップバウンド皮下注 15mg [循環器内科・院外] 薬価：11242/キット

(13) メトジェクト皮下注 10mg ペン 0.20mL [総合内科・院外] 薬価：2,310/キット

(14) メトジェクト皮下注 12.5mg ペン 0.25mL [総合内科・院外] 薬価：2,652/キット

(15) メトジェクト皮下注 15mg ペン 0.30mL [総合内科・院外] 薬価：2,972/キット

(16) ブルキンザカプセル 80mg [血液内科・院外] 薬価：6,636.1/Cap

－患者限定 臨時採用薬使用－

(1) クレセンバカプセル 100mg [血液内科] 薬価：4,476.6/cap

上記薬剤は、現在特定の診療科又は特定の患者において処方されている、処方が予定されている特定使用薬品です。申請された診療科及び患者のみ使用可能となっています。

8. 後発医薬品切り替えについて

(1) がん性皮膚潰瘍臭改善薬

現行品：ロゼックスゲル 0.75% (50g/本) (マルホ) 薬価：71.6/g (3580/本)

後発品名：メトロニダゾールゲル 0.75%「マルイシ」(50g/本) (丸石製薬)
薬価：37.5/g (1875/本)

上記の医薬品について後発医薬品の切り替えを実施します。ただし、先発品は院外のみ処方できます。

9. その他

－流通関連－

(1) シムビコートタービュヘイラー60 吸入 出荷調整のお知らせ

シムビコートタービュヘイラー60 吸入は、同成分の後発医薬品が流通停止したため先発品のシムビコートタービュヘイラー60 吸入の流通に影響しているため出荷調整となっています。

(2) ロキシニンゲル 1% 出荷調整のお知らせ

ロキシニンゲル 1%は、後発医薬品が流通停止したため出荷調整となっています。

(3) ソルダクトン静注用 200mg 出荷再開に伴う処方制限の解除

ソルダクトン静注用 200mg は、2024 年 7 月より製薬会社側の出荷停止に伴い院内の在庫が消尽したため処方停止の対応を実施していました。2025 年 5 月より出荷再開となり、院内の在庫も一定量確保できたため処方制限を解除します。

(4) オメガシン点滴用 0.3 g バッグ 出荷調整解除のお知らせ

オメガシン点滴用 0.3g バッグは、他社製品の抗生剤の供給問題の影響を受けたため出荷制限となっていたましたが、2025 年 5 月 21 日より出荷制限が解除されました。

(5) モンテルカスト錠 10mg「KM」 出荷調整解除のお知らせ

モンテルカスト錠 10mg「KM」は、他社製品の気管支喘息・アレルギー性鼻炎治療薬の出荷制限の影響を受けたため出荷調整となっていました。2025 年 5 月 20 日より出荷調整が解除されました。

(6) ラスリテック点滴静注用 7.5mg 供給再開のお知らせ

ラスリテック点滴静注用 7.5mg は、2023 年 9 月より出荷停止となっていました。2025 年 5 月 14 日より供給が再開されました。

—その他—

(7) ブイフェンドの添付文書改訂のお知らせについて

ブイフェンドの添付文書改訂について、当院で採用されているブイフェンド錠およびブイフェンド 200mg 静注用は、降圧薬であるエプレレノン（先発品名：セララ）と併用禁忌とする指示が厚生労働省より発出されたため電子カルテ等の対応を実施しています。

以上